

11月に入りヨシタ
うんどう会 バナー 団外保育 募集
パーク観劇会...と2期の行事が
どんどん矢のように早く過ぎていきます。
気がついて見れば...今年のはめくりカレンダーも
うすくなっています。

一回々が充実しているから毎日がとびよりに
過ぎていってしまう。『日曜日は止まれ。』と
いいたくなくありませんか？
たゞ子どもたちの今の瞬間を、もともとどめて
おきたいから『そんな事出来たらーい』子ども
たちは瞬間を最大のエネルギーにして成長して
この いるんですもの。

新所沢幼稚園の顧問弁護士であり 教育問題国民会議
理事長でもある秋山 昭八先生の

『家庭は国家の基本単位』

子どもの情動と育ち文化に伝承する場

と、11月テーマでこのように事をあつちしていき



今年はメダカが大人にも子どもにも人気だとか
家でかっている子もいます。(温度が25℃にほぼと
産卵するといわれていますが) 5月下旬頃から メダカの
話題が出てきます。今年のメダカのはじまりは
年少のT君。8月に産めしとあるちゃんがお母さんのおなかの中!!
お兄ちゃんになつてはいえ、3才の子ども。『かまんしてゐる事も
い、はね。』あるさんメダカで自分の存在を伝えたいと
たいに私には思えました。T君が産卵と同時にメダカを孵してました。
『T君のメダカ!!』T君たちにたくさん産れたんだって
T君たちといわれ、事でかまへしとメダカもT君の
いもやわうかくいもどいていってあげてました
その日の後、T君、T君のメダカを『孵、2リ君と』と大泣き。
『家にモル、はね、はね、はね、と』おじいちゃん。産卵降卵
翌日からメダカの水槽とのせいで1にっりのT君、そのせ
いで室内に卒園生のくさんの家から又々メダカの大
群衆が湧き、今では9クラスに...メダカえさ係交代で
あちこちから『メダカさん おはよう。』といく声もきこえて
きます。メダカに11やされしのは大人だけに...



家族の生活の場である家庭は本
来、家族構成成員の生活的な保障を
する機能と、愛情と精神的な安ら
ぎを充足させる機能を持つ。文部
科学省の情動に関する検討会は2
005年の報告書で、子供の情動
を育てる上での母親をはじめ家族か
らの愛情を受けることが望ましい
と指摘している。子供にとっては
親に心から愛されていることを実
感することが成長の第一歩なので
ある。家庭はまた、子供たちに文
化、価値観を伝承する場である。
こうした家庭の役割を抜きに社会
は成立し得ない。言うまでもな
く、家庭はまさに国家と社会の基
本的な構成単位なのである。
少子高齢化の急速な進行は、か
つて他の先進国が経験したことこ
ないレベルで進んでいる。高齢化
率が7%から14%に達するまでの
所要年数(倍化年数)を比較する
と、フランス115年、スウェー
デン85年、ドイツ40年、イギリ
ス47年に対して、わが国はわずか24
年で14%に達した。
児童虐待や高齢者虐待の急増
は、本来愛情で結ばれているはず
の家族関係が大きく揺らいでいる
ことを示し、さらに子供たちの暴
力行為や性の低年齢化など、家庭
が子供たちの規範を育てる力を失
いつつあることを示している。
(あきやま・しんじろう)

教育の目的は「人格の完成」で
ある。このことは教育基本法にお
いても明確に掲げられている。人
格教育の立場から、個人の人格の
陶冶の目的は、まず家庭におい
て結果すべきである。
子育ての第一義的責任は、社会
ではなく父母にあるのは言うまで
もない。しかし、過去20年にわた
る政府の家族政策を見てみると、
本来家庭で担うべき子育てや介護
などの役割を外部の機関に担うこ
ういう「子育ての社会化」「育児の外
注化」政策が押し進められてきた。
今わが国が喫緊に取り組むべき
課題は、家族が本来持つべき機能
を再生し、「家庭」を単位とする
国づくりである。



子どもの教育と外注するに限度があり!!
将来の日本を考えると不安が

子どもオー主義のしんとこ子にと...うなづく事には...
2016. 10. 27